

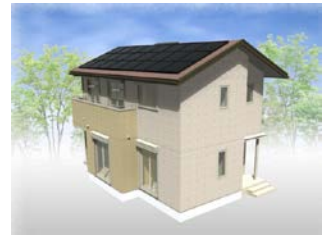
CASBEE® 戸建-新築

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)晴美台5号地		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2012年3月	予定		持ち込み家電等	仮
建設地	大阪府堺市南区晴美台1丁38番34			外構の仕様	確定
用途地域	第1種中高層住居専用地域	確定	＜備考＞		
省エネルギー地域区分	IV		評価の実施日		
構造・構法	鉄骨造	確定			
階数	2階建て		作成者		
敷地面積	180 m ²	仮	羽賀 匠		
建築面積	64 m ²	確定	確認日		
延床面積	112 m ²		確認者		
世帯人数	4	確定			



2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)

環境品質 G

環境負荷 L

BEE=1.0

3.1

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

戸建標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 69%

③上記+②以外の 36%

④上記+ 36%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア= 4.3

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア= 4.2

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア= 4.4

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア= 3.6

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア= 4.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・太陽光及び燃料電池による発電と断熱性能の強化等によりネットゼロエネルギー化を図っています。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする ・省エネルギー地域区分はIV地域ですが、Ⅲ地域対応の断熱仕様としています。 ・卓越風向を考慮した窓の設計を行っています。	Q2 長く使い続ける ・劣化対策、耐震、維持管理対策などの各項目で品確法上の最高等級としています。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする ・周辺地域の植生調査を行い、調査に基づいて植栽樹種の選定を行っています。 ・緑化率や舗装率に配慮しています。
LR1 エネルギーと水を大切に使う ・IV地域ですが、Ⅲ地域対応の断熱仕様としています。 ・エアコンの能力選定をシステム化しています。 ・給湯は燃料電池式、照明器具はレゾフド用を除きLED、太陽光発電を採用。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす ・構造躯体を工場生産によりプレハブ化し、施工現場での廃材発生等を抑制しています。 ・施工現場で発生する廃材や余剰材を回収、再利用する仕組みを導入しています。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する ・雨水の地下浸透や地域自生種による植栽を行っています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)



1. 建物概要	建物名称	(仮称)晴美台5号地	晴美台小学校跡地に建設する住宅の一つ	
	建設地	堺市南区晴美台1丁38番34	敷地面積	179.7㎡
建築面積/延べ面積/指定建ぺい率		64.0㎡ /	112.1㎡ /	60.0%

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	5	
省エネ対策	5	
みどり・ヒートアイランド対策	5	
安全快適な暮らし	4	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE戸建(新築) 「LRH3-1」のスコアによる評価値	CO ₂ に関する部分 の評価	5.0	5	
省エネ対策	評価項目		スコア	合計値	評価点
建物の断熱性による評価 CASBEE戸建(新築) 「LRH1-1 1.1」による評価	日本住宅性能表示基準 「5-1 省エネルギー対策等級」	等級4	4	5	5
設備の省エネルギー性による評価	高効率給湯器等の設置の有無	設置	1		
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	合計値	評価点
緑地内の緑化 CASBEE戸建(新築) 「QH3-2 2.1」による評価	緑地内の緑化を外構面積に対する 緑化面積の比率で評価する。	緑化面積の比率 92%	5	6	5
地表面被覆材に配慮し敷地外への 熱的な影響を低減する。 (①または②に取り組んでいること) CASBEE戸建(新築) 「LRH3-3 3.2」による評価	①敷地面積に対する舗装面積率 20% 未満 ②敷地面積に対する日射反射面積率 10% 以上	①舗装面積率 15% ②日射反射面積率 0%	1		
建築外装材料等に配慮し、敷地外への 熱的な影響を低減する。 (①または②に取り組んでいること) CASBEE戸建(新築) 「LRH3-3 3.2」による評価	①屋根面積に対する屋根緑化面積率 + 日射反射率又は長波放射率の 高い屋根材の面積率 20%以上 ②外壁面積に対する壁面緑化面積率 10% 以上	①対策を施した面積率 0% ②対策を施した面積率 0%	0		
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	合計値	評価点
バリアフリー対応による評価 CASBEE戸建(新築) 「QH2-3 3.2」による評価	日本住宅性能表示基準 「9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)」	等級1	1	6	4
自然災害に耐えることによる評価 CASBEE戸建(新築) 「QH2-1 1.4」による評価	日本住宅性能表示基準 「1-1 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)」	等級3	3		
地域の安全・安心への対応による 評価 CASBEE戸建(新築) 「QH3-3」による評価	【評価する取組み】 (CASBEE戸建-新築マニュアル参照) ①敷地内の避難ルート・消火活動空間の確保 ②防火性の高い植物の植樹 ③地域の避難路の確保 ④見通しの確保 ⑤自住戸や隣接住戸に侵入する足掛かりを 作らない配慮 ⑥その他の取組み		2つ	2	

4. その他

技術の名称	考慮事項
太陽光発電、蓄電池、HEMS、EVコンセントの導入	再生可能エネルギーの有効活用と見える化による省エネ行動の促進など。

特に配慮した事項

- ・『晴美台エコモデルタウン創出事業』の趣旨にのっとり、ネットゼロエネルギーハウスとして計画しています。
- ・当社独自の提案として蓄電池、HEMS等の先進技術の導入を図っています。